



Iwakura Ikimono Guide Book

いわくら生きもの ガイドブック

岩倉市

はじめに

本市は、市の中心部を流れる五条川や川岸の桜並木、自然生態園などの他、市街地周辺部の田畑が広がる地域など自然環境に恵まれています。しかし、田畑などの緑地については、都市化とともに減少しており、それに伴い、生き物の生息環境も変化し、少なからず生態系にも影響を与えています。また、近年の外来生物の侵入により、本来そこにあった生態系がくずれてしまうことが懸念されています。

そのような状況の中、多様な生態系を保全していくためには、まずは身近な自然にどんな生き物が生息しているのかを知る必要があります。このガイドブックでは、2017年度(平成29年度)の調査で見つかった市内の生き物の一部を紹介しています。

普段はあまり気づきませんが、みなさんの身近なところにも、生き物は暮らしています。ガイドブックを持って、生き物を探してみませんか？

も く じ

い わくら	い す	かん	生きもの図鑑		3	
し ょくぶつ	し ょるい	植物(21種類)		3		
こ んちゅう	し ょるい	昆虫(25種類)		8		
ぎ ょるい	む	どうぶつ	し ょるい	魚類、無せきつい動物(16種類)		14
ち ゅうるい	り ょうせい	し ょるい	は虫類、両生類(10種類)		18	
ち ょうるい	し ょるい	鳥類(13種類)		21		
に ゅうるい	し ょるい	ほ乳類(3種類)		24		
い 生きもの	マップ		25			
こ じょうがわ	い	五条川の生きもの		27		
い 生き物	もの	ちょうさ	につき	調査日記		29

生物多様性とは？

地球上の生き物は、生命が誕生して以来、40億年という長い年月の中で、さまざまな環境に適応して進化してきました。今、地球上には3,000万種類もの生き物がいるといわれています。これらの生き物たちは森や川、草原、湿地、海などいろいろな場所で、お互いにバランスを保って生きています。

たくさんの種類の生き物すべてが、複雑に関わりあって存在していることを生物多様性と呼んでいます。わたしたち人間もその生き物のひとつなのです。

もし、生物多様性が失われてしまったら

地球上から森や小鳥、魚、昆虫などが消えてしまって、人間だけが残ったと想像してみてください。立派なビルやコンピューターがあっても人間だけでは生きていけません。たとえば食べ物はすべて生き物です。生きていくのに必要な酸素は森から生まれます。わたしたちの生活に欠かせないエネルギー、衣服の原料などは生物多様性がもたらす自然の恵みなのです。

生物多様性の危機／外来種

わたしたち人間は、自分たちの暮らしを豊かにするために、森をなくしたり、食べ物になる生き物を獲りすぎたりしています。こうした人間の活動によって、生き物のつながりが壊れ、生物多様性が危機にさらされています。

また、外来種の持ち込みも生物多様性に悪影響を及ぼしています。本来そこにいなかった生き物が人の手で持ち込まれ、在来種を食べたり、えさやすみかを奪ったりするなどしています。さらに、農作物を食べたり、家に入ってきたりして問題になっています。外来種を野に放つのはやめましょう。

※外来種：国内海外を問わず、もともと生息していない地域に人の活動により入ってきて自然界に定着した生き物。

※外来生物：人の活動により海外から日本に入ってきて自然界に定着した生き物。

※特定外来生物：外来生物のうち生態系や人間の健康、農作物などに大きな被害を及ぼす、又は及ぼすおそれがあると認められる生き物。飼養、栽培、運搬などの取扱いが規制されている。

私たちにできること

○自然の中へ出かけ、自然や生き物にふれる。

○家の近くの生き物を調べてみる。

○野生の生き物にえさを与えない。

○ペットは最後まで飼う。

○地元でとれたものを食べ、旬のものを味わう。



いわくら生きもの図鑑

植物

① セリ



生えているところ

水田、湿地、あぜ道など

花の咲く時期

7月～8月

大きさ(丈)

20cm～50cm

岩倉市で見られる場所

自然生態園

特徴

春の七草のひとつで食べられる。白色の小さな花を多くつける。

② ナズナ



生えているところ

田畑、荒地、道ばたなど

花の咲く時期

2月～6月

大きさ(丈)

20cm～40cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

春の七草のひとつで食べられる。ペンペン草とも呼ばれる。

③ ゴギョウ(ハハコグサ)



生えているところ

水田、道ばたなど

花の咲く時期

4月～6月

大きさ(丈)

10cm～30cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

春の七草のひとつで食べられる。黄色い小さな花がつつぶつぶになって固まって咲く。

④ ハコベラ(ハコベ)



生えているところ

田畑、野原、道ばたなど

花の咲く時期

3月～9月

大きさ(丈)

10cm～20cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

春の七草のひとつで食べられる。小さく白い花をつける。

植物

昆虫

無せきい動物
魚類

両生類
は虫類

鳥類

ほ乳類

植物

⑤ ホトケノザ(コオニタビラコ)



生えているところ
水田、あぜ道など
花の咲く時期
3月～5月
大きさ(丈)
10cm

岩倉市で見られる場所
市内の水田

特徴
春の七草のひとつで食べられる。黄色い花をつける。

⑥ ハギ



生えているところ
野原、道ばたなど
花の咲く時期
6月～10月
大きさ(丈)
1. 5m～2m

岩倉市で見られる場所
五条川堤防(市街地)

特徴
秋の七草のひとつ。ピンクや白、赤紫色の花を多くつける。

⑦ オバナ(ススキ)



生えているところ
野原、道ばたなど
花の咲く時期
8月～10月
大きさ(丈)
1m～2m

岩倉市で見られる場所
名神高速道路法面

特徴
秋の七草のひとつ。名前の由来は馬の尾に似ているところ。

⑧ オオジシバリ



生えているところ
水田、道ばたなど
花の咲く時期
4月～5月
大きさ(丈)
20cmほど

岩倉市で見られる場所
市内全域

特徴
たんぽぽに似た花をつける。和名は「地面を縛る」との意味。

植物

⑨ オオキンケイギク 特定外来生物



生えているところ

河原、道ばたなど

花の咲く時期

5月～7月

大きさ(丈)

30cm～70cm

岩倉市で見られる場所

鈴井町内水路

特徴

北アメリカ原産。黄色のコスモスに似た花をつける。

⑩ アレチマツヨイグサ 外来生物



生えているところ

野原、河原、道ばたなど

花の咲く時期

6月～9月

大きさ(丈)

50cm～150cm

岩倉市で見られる場所

市街地以外の市内全域

特徴

花は黄色で夕方から咲き始め、朝にはしぼむ。

⑪ ヘラオオバコ 外来生物



生えているところ

野原、道ばたなど

花の咲く時期

6月～7月

大きさ(丈)

40cm～60cm

岩倉市で見られる場所

幹線道路周辺

特徴

細長いへら状の葉が水平から斜め上に放射状に伸びている。

⑫ セイタカアワダチソウ 外来生物



生えているところ

河原、野原、道ばたなど

花の咲く時期

10月～11月

大きさ(丈)

1.0m～2.5m

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

花は茎の先端に円錐状に密集して咲く。

植物

⑬ ヨモギ



生えているところ

野原、河原、道ばたなど

花の咲く時期

9月～10月

大きさ(丈)

50cm～120cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

昔から草餅などの食用や薬として用いられてきた。

⑭ ノビル



生えているところ

野原、河原など

花の咲く時期

5月頃

大きさ(丈)

20cm～30cm

岩倉市で見られる場所

五条川堤防、市街地以外の道ばた

特徴

食べられる。

⑮ ヘビイチゴ



生えているところ

あぜ道、道ばたなど

花の咲く時期

4月～6月

大きさ(丈)

10cmほど

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

食べられるが、美味しくない。

⑯ クスノキ



【岩倉市の木】

生えているところ

公園、街路、神社など

花の咲く時期

5月～6月

大きさ(丈)

20mほど

岩倉市で見られる場所

公園、神社など

特徴

クスノキ材は強い樟腦の香りがあるため、タンスなどの家具に使われている。

植物

昆虫

無せきつい動物
魚類

両生類
は虫類

鳥類

ほ乳類

植物

⑪ マツバラン



生えているところ

木の上、岩の上など

花の咲く時期

シダ植物のため、花は咲きません。

大きさ(丈)

10cm～30cm

岩倉市で見られる場所

五条川の桜(八剣町、井上町)

特徴

茎だけで葉も根ももたない。樹上や岩の上にはえる着生植物。

⑫ ニホンタンポポ



生えているところ

野原、田畑、道ばたなど

花の咲く時期

2月～6月

大きさ(丈)

10cm～30cm

岩倉市で見られる場所

五条川堤防

特徴

花の裏側の「総ほう」が立っているもの。

⑬ セイヨウタンポポ 外来生物



生えているところ

野原、土手、道ばたなど

花の咲く時期

4月～6月、9月～11月

大きさ(丈)

15cm～20cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

花の裏側の「総ほう」が反り返っているもの。

⑭ アケビ



生えているところ

山地、低地の林など

花の咲く時期

4月～5月

大きさ(丈)

3m～7m(つる)

岩倉市で見られる場所

自然生態園

特徴

茎は蔓になっている。果実は食べられる。

植物

②① カタバミ



生えているところ
野原、道ばたなど

花の咲く時期

5月～9月

大きさ(丈)

10cm～30cm

岩倉市で見られる場所
市内全域

特徴

ハート型の葉と黄色の小さな花。

昆虫

① ショウリョウバッタ



いるところ

野原、河原、公園など

見られる時期

7月～10月

大きさ(体長)

5cm～9cm

岩倉市で見られる場所

市内全域(市街地を除く)

特徴

頭部が尖った大きなバッタ。飛ぶときにチキチキという音をたてる。

② エンマコオロギ



いるところ

野原、河原、道ばたなど

見られる時期

8月～11月

大きさ(体長)

2. 5cm～3. 5cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

焦げ茶色で、頭部に光沢のある大きなコオロギ。オスはコロコロリーと鳴く。

③ コクワガタ(オス)



いるところ

クヌギなどの林など

見られる時期

6月～9月

大きさ(体長)

2cm～5cm

岩倉市で見られる場所

自然生態園、神社(東町、大山寺町)

特徴

クヌギやコナラの樹液に集まる。

写真 市民提供



④ オオカマキリ



いるところ

野原、河原など

見られる時期

8月～10月

大きさ(体長)

7.0cm～9.5cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

緑色または茶色の大きなカマキリ。

⑤ ハラビロカマキリ



いるところ

林、野原など

見られる時期

8月～11月

大きさ(体長)

4.5cm～7.0cm

岩倉市で見られる場所

五条川の桜、自然生態園

特徴

緑色の、ちょっと太めのカマキリ。

⑥ コカマキリ



いるところ

野原、人家など

見られる時期

8月～11月

大きさ(体長)

4.5cm～6.0cm

岩倉市で見られる場所

自然生態園

特徴

茶褐色の小ぶりのカマキリ。

⑦ アオモンイトトンボ



いるところ

池、水田、湿地など

見られる時期

4月～11月

大きさ(体長)

3.0cm～3.5cm

岩倉市で見られる場所

五条川、自然生態園

特徴

胸部側面が淡緑色で腹端が青色のイトトンボ。



⑧ ギンヤンマ



いるところ

池、水田、湿地など

見られる時期

4月～11月

大きさ(体長)

7cm～8cm

岩倉市で見られる場所

五条川、自然生態園

特徴

胸部が緑色で、腹部の付け根が青色の大型のトンボ。

⑨ シオカラトンボ



いるところ

池、水田、湿地、公園の池など

見られる時期

4月～11月

大きさ(体長)

5cm～6cm

岩倉市で見られる場所

自然生態園

特徴

オスは体全体が黒色で、胸部から腹部前方が灰白色の粉で覆われ、メスは黄色に小さな黒い斑紋がある。

⑩ アキアカネ



いるところ

池、水田、湿地など

見られる時期

6月～12月

大きさ(体長)

3. 5cm～4. 5cm

岩倉市で見られる場所

自然生態園

特徴

アカトンボの代表種。夏の間は高い山に登って避暑し、秋が近づくと里に降りてくる。

⑪ クロアゲハ



いるところ

林、公園など

見られる時期

4月～9月

大きさ(体長)

4. 5cm～7. 0cm

岩倉市で見られる場所

自然生態園

特徴

樹木が茂ったところなど、やや暗い場所をフワフワゆったりと飛ぶ。



⑫ モンシロチョウ



いるところ

野原、畑など

見られる時期

3月～11月

大きさ(体長)

2cm～3cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

フワフワと飛ぶ白いチョウ。

幼虫の食草であるキャベツ

畑やアブラナ畑に多い。

⑬ モンキチョウ



いるところ

野原、河原、公園など

見られる時期

3月～11月

大きさ(体長)

2cm～3cm

岩倉市で見られる場所

市内全域(市街地を除く)

特徴

活発に飛び、いろいろな花で吸蜜する。

⑭ ムラサキシジミ



いるところ

林など

見られる時期

3月～4月、6月～10月

大きさ(体長)

1. 5cm～2. 5cm

岩倉市で見られる場所

名神高速道路法面、自然生態園

特徴

ハネの表が青紫色に輝くシジミチョウ。

⑮ アブラゼミ



いるところ

林、街路樹、公園、人家、電柱など

見られる時期

7月～9月

大きさ(体長)

5cm～6cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

茶色のまだら模様のハネを持ったセミ。ジージーと油が煮えたぎるように鳴く。



⑩ ニイニイゼミ



いるところ

林、公園、人家など

見られる時期

6月～9月

大きさ(体長)

3cm～4cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

灰褐色のまだら模様の小さいセミ。

⑪ クマゼミ



いるところ

林、街路樹、公園、人家など

見られる時期

7月～9月

大きさ(体長)

6.0cm～6.5cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

黒っぽい体に透明のハネを持つ日本最大級のセミ。シャンシャンシャンと鳴く。

⑫ ツクツクボウシ



いるところ

林、街路樹、公園、人家など

見られる時期

7月～10月

大きさ(体長)

4.0cm～4.5cm

岩倉市で見られる場所

自然生態園

特徴

名前は鳴き声に由来する。鳴き声「ジー…ツクツクツク…ボーシ!ツクツクボーシ!」

⑬ ヨコヅナサシガメ



いるところ

林、街路樹、公園など

見られる時期

4月～7月

大きさ(体長)

1.5cm～2.5cm

岩倉市で見られる場所

五条川の桜、自然生態園

特徴

光沢のある黒色で、腹部側面が広く張り出し、張り出した部分が黒白の縞模様になった大きなカメムシ。



②① キマダラカメムシ



写真：市民提供

いるところ

公園、街路樹など

見られる時期

4月～11月

大きさ(体長)

2cmほど

岩倉市で見られる場所

五条川の桜

特徴

黒褐色で、黄色の小斑紋が多数散在している。

②① クマバチ



いるところ

公園、人家など

見られる時期

4月～10月

大きさ(体長)

2.0cm～2.5cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

ずんぐりとした体型で、威嚇するように飛ぶがおとなしいハチ。体は黒色で、胸部には黄色い毛が密生する。

②② ササキリ



いるところ

林周辺の野原など

見られる時期

8月～10月

大きさ(体長)

2.0cm～2.5cm

岩倉市で見られる場所

五条川堤防、自然生態園

特徴

体が緑色で、ハネと体の側面が黒褐色の小さなキリギリス。ジリジリジリと鳴く。

②③ ツチイナゴ



いるところ

野原

見られる時期

4月～11月

大きさ(体長)

5cm～7cm

岩倉市で見られる場所

市内全域(市街地を除く)

特徴

淡い土色をした大きなバッタ。幼虫期は緑色をしている。

昆虫



②④ クビキリギス



いるところ

野原、河原など

見られる時期

4月～11月

大きさ(体長)

5.5cm～6.5cm

岩倉市で見られる場所

市内全域(市街地を除く)

特徴

緑色または褐色で、頭頂が著しく尖った大きなキリギリス。口の周囲が赤い。

②⑤ ナガサキアゲハ



いるところ

野原、公園、人家など

見られる時期

5月～9月

大きさ(体長)

6cm～8cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

尾錠突起を持たない大きなアゲハチョウ。オスは黒一色、メスはハネの基部が赤色で白色紋がある。

魚類、無せきつい動物



① メダカ 絶滅危惧種



いるところ

浅い川、池、田など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

3.5cm～4.0cm

岩倉市で見られる場所

五条川、水路、自然生態園

特徴

「めだかの学校」で知られる魚。環境の悪化などにより全国的に激減した。

② カダヤシ 特定外来生物



いるところ

浅い川、池、田など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

3cm～5cm

岩倉市で見られる場所

五条川、水路(八剣町)

特徴

ボウフラを捕食することが、名前の由来となっている。



③ コイ



写真：市民提供

いるところ
川、池、用水など
見られる時期
一年中
大きさ(体長)
30cm～100cm

岩倉市で見られる場所
五条川、水路
特徴
口の横に2対のひげがある。寿命は長く、20年ほど生きる。

④ フナ



いるところ
川、池、用水など
見られる時期
一年中
大きさ(体長)
10cm～30cm

岩倉市で見られる場所
五条川
特徴
釣りの対象として馴染みのある魚。

⑤ アユ



いるところ
川、用水など
見られる時期
春～秋
大きさ(体長)
10cm～30cm

岩倉市で見られる場所
五条川
特徴
藻などを主食とする。仔稚魚期に海に下り、成長したら川を遡上する。

⑥ ドジョウ



いるところ
水田、湿地など
見られる時期
一年中
大きさ(体長)
10cm～15cm

岩倉市で見られる場所
五条川、水路、水田
特徴
水田に多く見られ、古くから農村地帯で食用に用いられていたが、近年は減少している。



⑦ シジミ



いるところ

川の砂底など

見られる時期

特に夏と冬

大きさ(体長)

2cm～3cm

岩倉市で見られる場所

五条川、水路(鈴井町など)

特徴

岩倉市で獲れるものは淡水域に生息しているマシジミである。(汽水域:ヤマトシジミ)

⑧ スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ) 外来生物



いるところ

水田、用水など

見られる時期

春～夏

大きさ(体長)

5cm～8cm

岩倉市で見られる場所

水田、水路

特徴

食用として外国から持ち込まれたものが野生化したものの。卵はピンク色をしている。

⑨ アメリカザリガニ 外来生物



いるところ

川、水田、池、用水など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

8cm～12cm

岩倉市で見られる場所

五条川、水路、水田、自然生態園

特徴

エサ用として外国から持ち込まれたものが野生化したもの。体は赤色か、濃い茶色をしている。

⑩ タニシ



いるところ

川、水田、用水など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

1cm～8cm

岩倉市で見られる場所

五条川、水路、水田、自然生態園

特徴

殻は右巻きであり、蓋で殻口をぴったり塞ぐことができる。



⑪ ヨシノボリ



写真: 市民提供

いるところ

川

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

5cm～10cm

岩倉市で見られる場所

五条川

特徴

吸盤状の腹びれで川底の石や護岸にはりつくことができる。

⑫ オイカワ



写真: 市民提供

いるところ

川

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

15cmほど

岩倉市で見られる場所

五条川

特徴

繁殖期の雄は鮮やかな婚姻色を示し、体側は光沢のある赤や青緑色を帯びる。

⑬ ヌマエビ



いるところ

川、池

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

1cm～5cm

岩倉市で見られる場所

五条川、自然生態園

特徴

体は半透明の淡青色や緑かかった茶色で、体側には線状に赤い斑点が並ぶ。

⑭ モクズガニ



写真: 市民提供

いるところ

川、用水路

見られる時期

夏～秋

大きさ(甲幅)

7cm～8cm

岩倉市で見られる場所

五条川

特徴

名前の由来は、ハサミ脚に毛が密集していて、藻のくずに見えるため。

魚類、無せきつい動物



⑮ テナガエビ



いるところ

川、池

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

10cmほど

岩倉市で見られる場所

五条川

特徴

ハサミ脚が長いのが名前の由来。

⑯ カマツカ



いるところ

川

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

15cm～20cm

岩倉市で見られる場所

五条川

特徴

体は淡褐色で、吻が長く尖り、口ひげは1対。口は吻の下方に開く。



は虫類、両生類

① クサガメ



いるところ

川、池、水田など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

15cm～30cm

岩倉市で見られる場所

五条川、水田(大山寺町)

特徴

首に黄色いストライプ模様が入る。成熟したオスは真っ黒になる。「臭いカメ」という意味。

② スッポン



いるところ

川、池など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

20cm～40cm

岩倉市で見られる場所

五条川

特徴

甲羅表面は角質化しておらず軟らかい。鼻と首が長く鼻先をシュノーケルのように水上へ出すことで呼吸できる。

は虫類、両生類



③ アカミミガメ 外来生物



いるところ

川、池、水田など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

15cm～30cm

岩倉市で見られる場所

五条川

特徴

甲羅は緑かかった茶色で、目の後ろ側に赤いすじ模様がある。

④ ヤモリ



いるところ

人家、その周辺など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

7cm～14cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

体は灰色や黒みがかった茶色であり、ひらぺったい。壁に張り付いていることが多い。

⑤ カナヘビ



いるところ

野原、公園、人家など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

15cm～25cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

黒みがかった茶色で、乾いた感じの粗い鱗で覆われている。スマートで尾が長い。

⑥ トカゲ



いるところ

野原、公園、人家など
日当たりの良いところ

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

15cm～25cm

岩倉市で見られる場所

五条川堤防(八劔町、井上町、東町)

特徴

体は光沢のある黒みがかった茶色で、側面に黒っぽい縦条がある。

は虫類、両生類



⑦ アマガエル



いるところ

林、野原、公園、人家など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

2. 0cm～4. 5cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

体は腹側が白色で、背中側が黄緑色だが、背中側は黒っぽいまだら模様の灰褐色にも変えることができる。

⑧ ダルマガエル 絶滅危惧種



いるところ

川、池、湿地、水田など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

3. 5cm～8. 5cm

岩倉市で見られる場所

水田(井上町、川井町など)

特徴

背中の中真ん中に線がなく、丸い黒斑がある。

⑨ トノサマガエル



いるところ

川、池、湿地、水田など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

5. 5cm～9. 0cm

岩倉市で見られる場所

水田

特徴

背中の中央には黄緑色または白色のはっきりとした背中線がある。

⑩ アオダイショウ



いるところ

林、河原、田畑など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

1m～2m

岩倉市で見られる場所

五条川堤防、自然生態園

特徴

体は、淡い黄色がかった茶色から暗い赤みのかかった茶色のような色合いで、背側は青味を帯びていて、目の後方には黒い縞筋がある。

鳥類



① アオサギ



いるところ

川、池、湿原、水田など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

90cm～100cm

岩倉市で見られる場所

水田、水路、五条川(市街地除く)

特徴

体の上面、翼の上面はうすく黒味のある灰色で、翼の風切羽は青色がかった黒色。

② コサギ



いるところ

川、池、水田など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

60cmほど

岩倉市で見られる場所

水田、水路、五条川(市街地除く)

特徴

全身白色で、繁殖期には2本の長い飾り羽を頭に持つ。くちばしと脚は黒色で、指は黄色い。

③ カワセミ



いるところ

川、池など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

16cm～20cm

岩倉市で見られる場所

五条川、自然生態園

特徴

羽色が鮮やかで、翡翠(ひすい)のような体色から、飛ぶ宝石ともいわれる。

④ キジ



【日本の鳥(国鳥)】

いるところ

林、野原、河原、田畑など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

60cm～80cm

岩倉市で見られる場所

水田周辺(市内北部、西部)

特徴

オスは濃い緑色の体で、繁殖期になると、ハート型の赤い顔になり、「ケンケン」と鳴きながらメスを求める。

鳥類



⑤ ケリ



いるところ

水田、畑、河原など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

35cmほど

岩倉市で見られる場所

水田(市街地除く)

特徴

頭から首は灰色で、体上面は灰色がかった茶色、体下面は白く、脚は長く黄色い。

⑥ ハシブトガラス



いるところ

林、街中など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

55cmほど

岩倉市で見られる場所

五条川堤防(大山寺町など)

特徴

くちばしが太い。額が出っぱっていて、くちばしとは段になってみえる。

⑦ ハシボソガラス



いるところ

河原、田畑、街中など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

50cmほど

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

全身黒色だが、羽は近くで見ると青・紫などの光沢を持つ。

⑧ ツバメ



いるところ

川、田畑、人家など

見られる時期

春～秋

大きさ(体長)

17cmほど

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

背は光沢のある藍黒色で、のどと額が赤い。腹は白く、胸に黒い横帯がある。

鳥類



⑨ ハクセキレイ



いるところ

川、田畑、街中など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

20cmほど

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

頭から背は黒色か灰色で、
腹と翼は広く白色。

⑩ ムクドリ



いるところ

野原、田畑、人家など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

25cmほど

岩倉市で見られる場所

市内全域、竹林公園

特徴

翼と胸、くびは茶褐色で、く
びから頭部にかけてと腰に
白い部分が混じり、足とくち
ばしは黄色い。

⑪ ヒヨドリ



いるところ

林、公園、人家など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

28cmほど

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

頭部から胴体は灰色の羽毛
におおわれているが、頬に
黒みがかかった茶色の部分
がある。

⑫ コガモ



いるところ

川、池など

見られる時期

秋～春

大きさ(体長)

38cmほど

岩倉市で見られる場所

五条川(南部)

特徴

オスの色彩はカラフルだが、
メスは茶色系で地味で細か
い模様をしている。

植物

昆虫

無せきつい動物
魚類、
両生類

両生類

鳥類

ほ乳類

鳥類



⑬ カワラヒワ



いるところ

林、河原、公園など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

14cmほど

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

全体的に黄色がかった茶色で、翼の一部が黄色。



ほ乳類

① イタチ



いるところ

野原、河原、田畑など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

15cm～35cm

岩倉市で見られる場所

水田周辺

特徴

しなやかで細長い胴体に短い四肢をもち、鼻先がとがった顔には丸く小さな耳がある。

② コウモリ



いるところ

林、人家など

見られる時期

一年中(概ね夜間)

大きさ(体長)

3cm～6cm

岩倉市で見られる場所

市内全域

特徴

翼をもち、完全な飛行ができる動物。飛行時は超音波を発し、障害物や食べ物を探知する。夜行性。

③ ヌートリア 特定外来生物



いるところ

川、池など

見られる時期

一年中

大きさ(体長)

40cm～60cm

岩倉市で見られる場所

五条川、水田

特徴

大きなドブネズミのような体つきで、目や耳は小さく、尾は扁平でなく円筒状。

植物

昆虫

無せきつい動物

両生類

鳥類

ほ乳類

生きもののマップ

五条川

名神高速道路

市街地

オバナ(ススキ)



ムラサキシジミ



自然生態園

住所：北島町最中1

コクワガタ(オス)

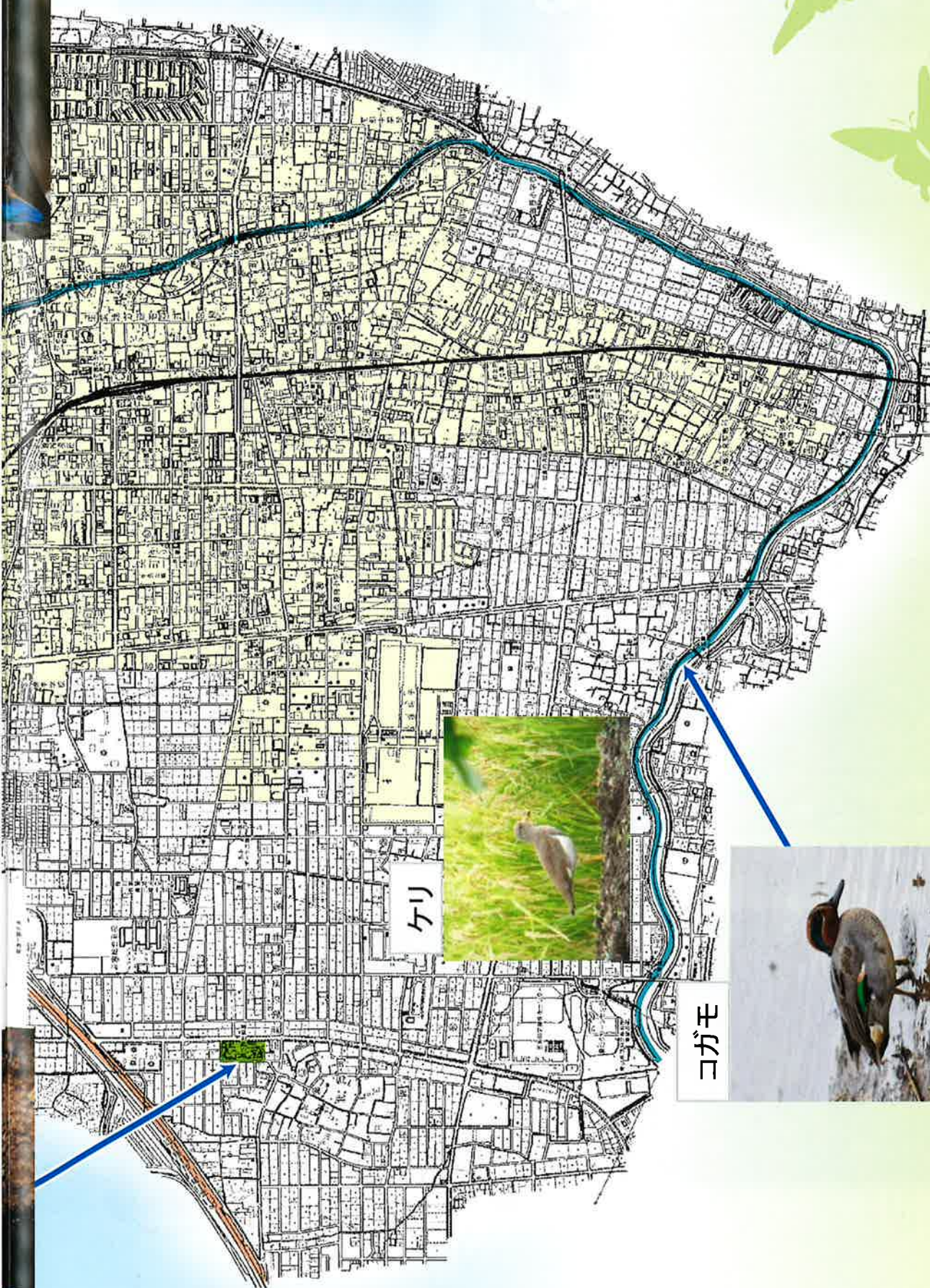


アオモンイトトンボ



カワセミ





ケリ



コガモ



五条川の生きもの

シジミ



コイ



フナ



アユ



ドジョウ



モクズガニ



アカミミガメ



外来
生物

オイカワ



写真: 市民提供

カマツカ



テナガエビ



写真: 市民提供

カワムツ



写真: 市民提供

マハゼ



写真: 市民提供

スッポン



写真: 市民提供

生き物調査日記



年 月 日 天氣:

場所：

[illegible]



年 月 日 天気:

場所:

--



いわくら生きものガイドブック

発 行：岩倉市

編 集：市民部環境保全課

TEL 0587-38-5808(直通)

FAX 0587-66-6100

E-mail kankyohozen@city.iwakura.lg.jp

協 力：「生き物見つけ隊」参加者

「生き物調査」参加者

岩倉ナチュラリストクラブ

岩倉の水辺を守る会

発行年月：2018年(平成30年)3月